

深田尚彦 記念会

人は皆、 急ぎ足の旅人

2017年6月17

芦屋福音教会

音楽

PP&M

ピーターポール&マリー

BLOWIN' IN THE WIND

風に吹かれて

TELL IT ON THE MOUNTAIN

山の上に告げよ

1963年頃米国の友人から
LPレコードや
オープンリールテープを
送って頂き聞いていました
芦屋に来てからも
よく聞いていた曲です

深田尚彦

1923（大正12）年6月4日 大阪生まれ

1943（昭和18）年 大阪第一師範学卒業
大阪市榎並小学校教諭

1944（昭和19）年 敦賀陸軍歩兵部隊に入隊、船舶工兵に転属

1945（昭和20）年 船舶工兵士官学校卒業、徳山部隊配属、終戦

1947（昭和22）年 大阪専門学校数学科卒業
大阪府玉川女子高等学校教諭

1950（昭和25）年 同志社大学文学部に編入学（心理学専攻）卒業
京都府自動相談所に就任

1961（昭和36）年 同志社女子大学講師

1964（昭和39）年 同志社女子大学助教授

1970（昭和45）年 同志社女子大学教授（心理学）

1989（平成元年）年 定年退職、名誉教授
大阪芸術大学教授

1995（平成 7）年 大阪芸術大学 大阪芸術短期大学部 学長に就任

2006（平成18）年 82歳で学長退任



兄弟四人と

1947(S.22)年



朝鮮戦争の休暇で来日していたリチャード・ソルセン陸軍中尉と文通を始める
その後、彼が臨床心理学誌を送ってくれたことをきっかけに世界の研究者と
出会い多くの業績に繋がる

リチャード・ソルセンと第三郎と

1947(S.22)年



梅内 和と結婚

1952(S.27)年



京都市上京区堀川 京都御所へよく遊びに行きました 1959(S.34)年頃



新入生歓迎会 40.4.14 聖州寮

1965(S.40)年



田辺学舎

1968(S.43)年頃



68年聖州寮クリスマス祝会



討論クラス 1968(S.43)年



同志社女子大学講師に就任 1961(S.36)年

研究室にて1969(S.44)年



NHK特別番組出演

1972_(S.47)年11月23日・



1973(S.48)年

1973年度 第21回
同志社女子大学卒業



1973(S.48)年



家政コンパ 1974(S.49)年



雪の日の
栄光館

1975(S.50)年2月



親しい友人 同志社女子大学ベッドフォード先生と 1977(S.52)年



京都城陽のリビング よく音楽を楽しみました 1979(S.54)年



1989(S.64)年



図書館長終わるの日 1979(S.54)年3月31日



定年退職 名誉教授 1989(S.64)年



大阪芸術大学教授に就任 1989(S.64)年



大阪芸術大学
大阪芸術短期大学部
学長に就任

1995(H.7)年

学長退任 82歳

2006(H.18)年

2002(H.18)年10月



家族旅行を楽しみました 2003(H.15)年



家族旅行を楽しみました 2003(H.15)年



富山県市
骨董市、フリーマーケット
毎月第三日曜日開催
富山県市

富山県市
骨董市、フリーマーケット
毎月第三日曜日開催
富山県市

家族旅行を楽しみました 2003(H.15)年



家族旅行を楽しみました 2004(H.16)年



海外旅行 2004(H.16)年



海外旅行 2004(H.16)年



残照抄

Zansyosyo

fukadanaohiko.jp

深田尚彦
fukada naohiko

—夕暮れ空に日が沈み
上空は暗いが家々の屋根の上は未だ灰赤く
地球の向こうの太陽の光が
まだ我々に届いている
最後の光が洩れてくる—

はじまり

2010/03/05

私は昭和36年、同志社女子大学に就任、心理学を担当、以後28年間そこで教えた。戦後復員して大学に編入学(心理学専攻)、卒業後11年間臨床心理学職にいたが大学での一般心理学講義には知識が不足、アメリカの教科書数種で学習を再開、当時著名の書はMorgan, Munn, Hilgard等の著書であったがHilgardが気に入った。戦時中の英語は敵国言語として軽視され、私はそれに力を入れなかった為、講義の準備と資料蓄積は大変であった。でも臨床職時代に海外の多くの研究論文を読み研究者と多々文通したのは英語力を強めた。新しく知るのは楽しく、私はその楽しみを学生に語った。準備中は納



**父のブログは、2010年3月5日「はじまり」から、イノセンス 牧文彦様の支援で開始
2017年3月26日まで続きます。 父の生き甲斐でした。**



**城陽の書齋で 2010(H.22)年3月5日からブログ「残照抄」を始める。
2017年3月26日最終回383号で終わりました。**



9月に京都府城陽市の自宅から芦屋に越してきてくれました



芦屋に移り住んで半年後に集まって頂きました



芦屋に来てからも多くのみなさまに支えられました



大きな喜び 2012(H.24)年



毎年楽しみにしておりました。





2013 12 29

六甲の山を望む 芦屋浜を散歩





芦屋の暮らしにも慣れ元気に暮らしを楽しんでくれました



父の部屋からの六甲山 たいそう気に入って楽しんで眺めていました。

残照抄

Zansyosyo

fukadanaohiko.jp

深田尚彦
fukada naohiko

—夕暮れ空に日が沈み
上空は暗いが家々の屋根の上は未だ灰赤く
地球の向こうの太陽の光が
まだ我々に届いている
最後の光が洩れてくる—

383. 情と知

2017/03/26

この題の2件については既に書いたかも知れず
用心して表題の2字の順を変えた。情と知は人
間に大事だが、その2者、管理官が違う。心は
脳の実行機能、情は身体を管理するエネル
ギーとも言える、実行については考慮も要る。
人が水に溺れると人は心に(援助、指示等の、
支持を求める)、心は「オイ、がんばれ体君」と叫ぶが何処に向かって泳ぐかは
体が感覚器で探す、目的実行の補助機で、探すのは体だ、ガンバレ！と言うの
は心だが、泳ぐのは体、もっと右寄りでないと陸から外れる！と言うのは心だ。
陸地見えて泳がねば助からず知っても実行無しでは助からぬ、泳がねば助から
ぬ。……続く





心臓専門病院にて 2017_(H.24)年4月6日



4月16日の日曜日に父母と散歩に出かけた時、
「入院前に咲いていた櫻が今年ながく美しく咲いているね」と その櫻の花を愛でる 父
2017年4月17日 父は旅立ちました。

みなさまの
永年にわたります
ご厚情
ありがとうございました

2017年6月17日